

教育研究等活動業績

山梨英和大学

フリガナ 氏名	性別	生年(西暦) (公表可否)	職名	所属
クワト カコ 桑本 佳代子	女	非公表	専任講師	人間文化学部人間文化学科 人間文化研究科臨床心理学専攻
取得学位称号	心理学修士	専門分野	臨床心理学、スーパーヴィジョン学	
学 歴	1990年	3月 私立ノートルダム清心高等学校卒業		
	1991年	4月 東京工業大学第6類入学		
	1995年	3月 東京工業大学工学部建築学科卒業		
	2000年	4月 専修大学大学院文学研究科修士課程入学		
	2002年	3月 専修大学大学院文学研究科修士課程修了		
	2016年	4月 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程臨床実践指導学講座入学		
	2019年	3月 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程臨床実践指導学講座 単位取得満期退学		
実 務 経 験	1995年	4月 建設省(国家一種建築)常勤(1999年3月まで)		
	2002年	4月 医療法人社団慶神会武田病院カウンセラー常勤(2007年12月まで)		
	2008年	1月 自衛隊呉病院カウンセラー常勤(2008年6月まで)		
	2008年	7月 呉みどりが丘病院カウンセラー常勤(2008年11月まで)		
	2008年	12月 大河内メンタルクリニックカウンセラー常勤(2015年3月まで)		
	2011年	4月 学校法人大和学園聖セシリア女子短期大学非常勤講師(2015年3月まで)		
	2011年	5月 専修大学心理教育相談室カウンセラー非常勤(2019年3月まで)		
	2013年	4月 八王子市立式分方小学校スクールカウンセラー非常勤(2014年3月まで)		
	2014年	5月 町田さがみはらカウンセリングルーム代表(現在に至る)		
	2015年	4月 普連土学園スクールカウンセラー非常勤(2018年3月まで)		
2019年	4月 山梨英和大学専任講師(現在に至る)			
受 賞 歴	年	月		
	年	月		
所 属 学 会	2000年	4月 日本犯罪心理学会正会員(2002年まで)		
	2001年	4月 日本心理臨床学会正会員(現在に至る)		
	2002年	4月 日本精神分析学会正会員(現在に至る)		
	2002年	4月 日本集団精神療法学会正会員(2008年まで)		
	2002年	4月 日本ロールシャッハ学会正会員(2008年まで)		
	2003年	4月 日本臨床心理士会会員(現在に至る)		
	2023年	3月 日本臨床死生学会正会員(現在に至る)		
特 免 資 許 許 格 等 ・ ・	2003年	4月 臨床心理士		
	2018年	11月 公認心理師		
e-mail	非公開			

目 次

○教育業績

教育理念、方針、方法

教育能力

教育方法実践例

作成した教科書、教材等

教育方法や実践に関する発表、講演等

担当授業科目

代表的なシラバス

教育改善活動

教育能力に対する評価

○研究業績

研究の特徴

研究経歴

研究実績

著書

学術論文

その他の研究活動

競争的資金採択課題

学会等発表、役員参加

共同研究・受託研究の実績

大学院生指導

研究能力に対する評価

○サービス活動業績

学内委員会・作業部会等活動実績

アドバイザー活動実績

後進育成活動実績

社会貢献活動

○専門的活動(教育業績、研究業績、サービス活動業績)の統合による成果と目標

専門的成果

専門的目標

○添付資料

完全リスト(研究実績、競争的資金採択課題、学会等発表・役員参加、共同研究・受託研究の実績、
学内委員会・作業部会活動実績)

サンプル(教育能力、代表的なシラバス、教育改善活動、大学院生指導、アドバイザー活動実績、
後進育成活動実績、社会貢献活動)

評価結果(教育能力に対する評価、研究能力に対する評価)

専門的成果のエビデンス

教育業績

教育理念、方針、方法	<p>自身の長年の心理臨床実践をいかし、心理臨床家が育つというのはどういうことなのかを、真摯に考え、実践し、教えていきたいと考えている。心理臨床家は、ひと(クライアント)のさまざまな人間模様に向きあい、クライアントとともに心を震わせ、こころ悩ませ、くじかれ、またときにこころ満たされ、喜び、齢を重ねていく。心理臨床家は、そのように生きるひとの語りを聴くことを専らとする。</p> <p>さらに、自身の専門の一つは「スーパーヴィジョン」であるが、スーパーヴィジョンはたんなるスキルの伝授に終始するものではない。スーパーヴィジョンは、心理臨床家の臨床を巡るさまざまな体験の語りを聴く、まさに、生老病死に関わる営みである。自身の臨床観がスーパーヴィジョンにあらわれてくる。そこには、教育的要素が複雑に含みこまれている。</p> <p>学生の中には、心理臨床家を志す人だけでなく、心理臨床に興味をもった人や、心理学に触れてみたい人、あるいは触れざるを得ない人がいる。そういった学生たちに、真摯に寄り添い、こころに向き合い、出会いを生きる教育を展開していきたい。</p>
教育能力	<p>(1)教育方法実践例</p> <p>①講義科目においては、パワーポイントを用い、資料は皆に事前配布し、当日の授業内での説明をよりわかりやすくするように工夫している。さらに、毎回、授業中に臨床的な課題に取り組み、授業内でそれぞれの回答に応えたり、皆で可能な範囲で共有したりしている。</p> <p>②演習科目においては、毎回、全員が資料をもとに発表する機会を設け、プレゼンテーションやディスカッションを大切にしている。また、ロールプレイを行い、より実際の心理臨床場面がイメージできるように心がけている。用いる課題も、自身の長年の臨床場面における経験をいかし、より実践的なものとしている。</p> <p>③専門ゼミナール、卒研ゼミナールでは、事例を通して現代社会の抱える心理的、社会的問題に向き合う機会を提供している。ゼミ生同士でディスカッションをし、知的な理解だけでなく、情緒的な理解を共有し、双方向のコミュニケーションを図りながら、質疑にも対応している。3年次は、日ごろなかなか触れることがない、専門論文を読んだり、自らの関心を定めていって発表したりといったことを中心にしている。うつ病、依存症、摂食障害、虐待といった重いテーマが選ばれることもあるので、お互いにコミュニケーションを図ることを大切にしている。4年次には、卒業研究に向けて、学生自身の主体性、自律性を重んじ、ゼミ生同士の意見や発想を大切にしながら、きめ細やかな指導を行っている。</p> <p>④大学院の授業では、臨床基礎実習を担当しているが、公認心理師・臨床心理士として必要な基礎固めを目指し、院生が実際に担当している電話実習のスーパーヴィジョンを行っている。また、学内、学外での実習に入るにあたっての、臨床家としての心構え、姿勢などを確認していくが、その際には双方向の議論を大切にしながら、疑問を感じる時はそれを大切にしている。さらに個別指導として行うスーパーヴィジョンでは、はじめて実際の事例を担当するという緊張、不安、恐れといった情緒面のサポートを大切に、自身の長年の臨床経験をいかした指導を行っている。</p> <p>⑤また、自らが公認心理師・臨床心理士として、カウンセリング機関を開業しており、複数の事例を担当し、心理臨床家として出会いを生きていくことを大切にしている。</p> <p>(2)作成した教科書、教材等 特になし</p> <p>(3)教育方法や実践に関する発表、講演等</p> <p>①桑本佳代子. 2019. 共訳書「スーパーヴィジョンの実際問題—心理臨床とその教育を考える」 心理臨床家の育成のために必須である、スーパーヴィジョンについて、2019年に上記書籍の翻訳・出版を行った。22名のユング派分析家ないしはユング心理学を専門とする心理臨床家の手に成る原書は、心理臨床スーパーヴィジョンに関する論文集である。</p> <p>②桑本佳代子. 2017. 「スーパーヴィジョンの意義についての考察—パラレルプロセスに注目して—」. 心理臨床スーパーヴィジョン学第3号. 80—94. (査読あり) 心理療法の初学者が臨床家として成長していく際に、教育研修の一環としてスーパーヴィジョンを受けることの意義はしばしば語られる。本論文では、スーパーヴァイザーとスーパーヴァイジーとの関係性(スーパーヴィジョンでの関係性)が、セラピストとクライアントとの関係性(セラピーでの関係性)に同様に起きることを事例を通して主張した。</p> <p>③桑本佳代子. 2013. 共著「心理臨床家の成長」 本書では、心理臨床家が、事例との出会いの折々に直面する場をいかに受け止め、越えてゆき、切り開くかが描かれている。そして、どのように心理臨床家としての自分を作ったかが記述されている。そこでは心理臨床家として成熟してゆくための学びや出会い、さらには臨床現場との向き合い方や処し方が示されている。</p>

担当授業科目	学部:健康・医療心理学、心理学的支援法Ⅱ、心理演習Ⅰ、心理実習Ⅱ、人間文化学、基礎ゼミナール、専門ゼミナール、卒業プロジェクト研究 大学院:臨床心理実習Ⅰ、臨床心理基礎実習
代表的シラバス	「心理学的支援法Ⅱ」では、カウンセリング・心理療法に共通するプライバシーの保護等の基本姿勢を軸としながら、様々な臨床現場での支援活動(訪問による支援や地域支援)など応用的な実践についても触れていきます。さらに、心理に関わる関係者に対する支援や心の健康教育など、対人援助職への支援・予防活動などについても学びます。加えて、チームアプローチ・多職種連携・リエゾンコンサルテーションなど多岐にわたり、公認心理師として心理支援を実践するために必要な多面的知識と技能の習得を図ります。 本授業では、到達目標を(1)カウンセリング・心理療法のプロセスについて理解し説明することができる。(2)カウンセリングに必要な基本姿勢を学び、様々な実践的対人援助・支援活動に活かすことができる。(3)カウンセリングの応用的実践(地域支援・予防活動)について理解し、説明することができる。(4)心理支援を実践するために必要なアセスメントを行うことができる。(5)心理に関する支援を要するもの関係者に対する支援を理解できる、に置き、教員自らの心理臨床実践を踏まえながら、学生が現代社会におけるさまざまなこころの課題について考え、時に取り組んでいける力を培っていく。
教育改善活動	①講義では、学生と教員の双方向のコミュニケーションを大事にし、学生に対して授業の感想や改善点等を指摘してもらい、学生からの授業評価を積極的にいかしていくように努力している。 ②学部の授業においては、心理臨床の現場をより知ってもらうために、自身の長年の臨床活動から得られた経験を、学生に伝えている。その際、一方的な押し付けにならないためにも、毎回感想や質問などのフィードバックをもらい、それへの回答を返しているところである。 ③大学院においては、自らの専門でもあるスーパーヴィジョンを実施するとともに、さらによりよいスーパーヴィジョンの展開のために、研究研鑽を怠らないようにしている。そのためにも、プライベートな時間の中で、月に4回程度の事例検討会や輪読会、勉強会等に参加している。
教育能力に対する評価	(1)学生による授業評価 学生からの授業評価アンケートにより、講義科目においても演習科目においても、満足度が高いことが明らかになっている。「新たに勉強を深めたい」「自分の知りたいと思ったことを知ることができた」など、自由記述欄においても、肯定的な評価が多数である。 心理臨床の営みは、こころを使うものであるため、中には、かなり揺らされて辛かったという意見も見られることがあるので、感想や質疑などのフィードバックを必ず行い、それらにすべて目を通し、返却するようにしている。さらに、「揺れ」をなるべく小さくし、学生自身が抱えられるようになるよう、教材の工夫を行うようにしている。

研究業績

研究の特徴	自身の専門であり、研究テーマでもあるのは「スーパーヴィジョン」であるが、スーパーヴィジョンは、心理臨床家の臨床を巡るさまざまな体験の語りを聴く、まさに、生老病死に関わる営みである。そのため、自身の臨床観がスーパーヴィジョンにあらわれてくる。特に大学院生のような初学者にとっては、はじめてクライアントを担当し、スーパーヴィジョンを受けることになるのであるが、そのため、スーパーヴァイザーを理想化したり、神格化したりといったことが起こりやすく、院生自身が自分のこころやからだを使って考え、感じていくことができにくい。スーパーヴィジョンに関する研究テーマとしては、どのようなスーパーヴィジョンが求められているのか、どんなスーパーヴァイザーであるのがよいのか、といったことを研究している。 さらに、昨今、こころの病を抱え、自殺に至る若者が急増しており、自らの臨床経験をいかして、目の前のクライアント(ひと)といかに関わっていくのか、特に、希死念慮を訴えるひとに対して、心理臨床家はいかにあるのかを研究テーマとしている。	
研究経歴	2002年～2016年	主に、精神科病院、メンタルクリニック、自衛隊病院、アルコール依存専門病院等、病院臨床の領域で心理臨床の実践を行ってきた。その中で、精神分析的な心理療法をオリエンテーションとし、事例検討や事例発表を行うとともに、治療構造についての様々な問いに向き合い、学会発表等を行ったり、論文を執筆してきた。さらに、一対一の心理臨床だけでなく、集団精神療法にも積極的に参加し、効果的な集団精神療法のあり方について研究会や学会等で発表を行ってきた。
	2016年～2022年	京都大学大学院教育学研究科博士後期課程臨床実践指導学講座に在籍し、臨床心理士・公認心理師の養成に関わる課題について研究を行ってきた。特に、スーパーヴィジョン、事例検討についての研究を行った。さらに、これまでの自身の心理臨床経験を振り返り、多くのクライアントが、「なぜ生きているのか」、「こんなに苦しいのになぜ死んではいけないのか」と私に問うてきたことについて、熟考し、研究を深め、「自死を望む人への心理臨床家のありかた」(査読あり)として、単著論文を執筆した。

研究実績	<p>(1) 著書</p> <p>桑本佳代子. 2019. 共訳書「スーパーヴィジョンの実際問題—心理臨床とその教育を考える」</p> <p>桑本佳代子. 2013. 共著「心理臨床家の成長」</p> <p>(2) 学術論文</p> <p>桑本佳代子(2019)「自死を望む人への心理臨床家のありかた」京都大学大学院教育学研究科紀要 65. 15-27(査読あり)</p> <p>桑本 佳代子(2018)「精神病転移: 妄想性パーソナリティ障害での対象関係」心理臨床センター紀要 14. 14-23(査読あり)</p> <p>桑本佳代子(2017)「スーパーヴィジョンの意義についての考察—パラレルプロセスに注目して—」. 心理臨床スーパーヴィジョン学第3号. 80-94. (査読あり)</p> <p>桑本佳代子ほか(2017)「初学者の経験から考える心理療法の導入について(2)-アセスメント面接-」京都大学大学院教育学研究科附属臨床教育実践研究センター紀要 20. 63-74</p> <p>桑本 佳代子(2009)「目の痛みと激しい行動化のある女性との面接経過」精神分析研究 53(1). 33-39</p> <p>桑本 佳代子(2003)「非行少年の自己愛性と攻撃性の関係についての研究」聖マリアンナ医学研究誌 3(78). 33-44</p>	
	競争的資金採択課題	特になし
学会等発表・役員参加	<p>2018年 11月 桑本佳代子(2018)日本精神分析学会「捨てられた傷つきを捨てることで解消する女性との心理療法過程」</p> <p>2017年 11月 桑本佳代子(2017)日本精神分析学会「サポートティヴであることは精神的ではないのか？」</p> <p>2013年 9月 桑本佳代子(2013)集団認知行動療法研究会「集団認知行動療法と力動的集団精神療法が併存することの意義について」</p> <p>2008年 10月 桑本佳代子(2008)日本精神分析学会「構造の変化と治療関係への影響について」</p> <p>2007年 10月 桑本佳代子(2007)日本精神分析学会「目の痛みと激しい行動化のある女性との面接経過」</p> <p>2007年 5月 桑本佳代子(2007)日本集団精神療法学会「メンバー構成が一定しないこととのグループへの影響—慢性期と急性期の混合グループの治療的意義—」</p> <p>2006年 9月 桑本佳代子(2006)日本心理臨床学会「身体接触を求めるBPOケースとの関わりについて—入院期間限定の中での治療者の関わり—」</p>	
受託共同研究の実績	<p>2004年 4月 厚生労働省委託研究「パーソナリティ障害に対する弁証法的行動療法の効果研究」</p>	

<p>大学院生指導</p>	<p>①2011年5月から2019年3月まで、専修大学心理教育相談室において、大学院生のスーパーヴァイザーとして、ケーススーパーヴィジョンを個別面接で実施し、1回1時間のスーパーヴィジョンセッションを行ってきた。毎日約3セッション(3時間)を、4日間担当したため、月に約50時間の指導を行ってきたこととなる。</p> <p>②2019年4月から現在まで、山梨英和大学大学院において、大学院生および特別研修生のスーパーヴァイザーとして、ケーススーパーヴィジョンを個別面接で実施し、1回1時間のスーパーヴィジョンセッションを毎週4セッション(4時間)担当している。一人当たりの時間が左記になるため、ケースの数が増えれば、それだけ時間倍増する</p> <p>③2019年4月から現在まで、山梨英和大学大学院において、「臨床心理基礎実習」「事例検討(カンファレンス)」「臨床心理実習」の授業を担当し、公認心理師・臨床心理士の育成を行っている。外部実習では、精神科を含む総合病院や、児童養護施設等の福祉施設の実習指導を行っている。</p>
<p>研究能力に対する評価</p>	

サービス活動業績

<p>学内委員会・作業部会等活動実績</p>	<p>2019年 心理臨床センター管理運営委員会 情報メディアセンター運営会議</p> <p>2021年 学生サービス部運営会議 紅楓会実行委員会顧問 心理臨床センター管理運営委員会 情報メディアセンター運営会議</p> <p>2022年 学生サービス部運営会議 紅楓会実行委員会顧問 心理臨床センター管理運営委員会</p>	
<p>アドバイザー活動実績</p>	<p>2022年度</p>	<p>1年生13名、3年生5名、4年生9名、計27名のアドバイザーを担当。うち2名は留学生である。</p>
	<p>2021年度</p>	<p>2年生、3年生、4年生と合わせて30名程度のアドバイザーを担当。そのうち2年生は、基礎ゼミ再履修性であり、3年生のうち2名は留学生である。</p>
	<p>2020年度</p>	<p>2年生、3年生と合わせて20数名のアドバイザーを担当。そのうち2年生は、基礎ゼミ再履修性である。</p>
	<p>2019年度</p>	<p>1年生、3年生と合わせて20数名のアドバイザーを担当。</p>

